

事業実施報告書

団体名：特定非営利活動法人MiKOねっと

事業名：地域の子どもとつながる「おじいちゃんおばあちゃんの生きがい講座」

MiKO・マルシェ

1 事業の目的

高齢者が生きがいを持って、いきいきと暮らせるために何が必要かと考えた時、高齢者の方々が集い、そこで目的を持って取り組める事業が必要だと思いました。そして、その事業の成果を持って、地域の子どもたちと交流し、互いに支え合う関係づくりを目指します。多世代の人たちがつながって豊かに暮らせる地域づくり、地域の活性化につなげます。今年度は特に高齢者と小学生との交流に力を入れました。

- ① 第一の目的は、65歳以上の高齢者が集い交流し、お手玉・折り紙・コミュニケーションゲームなどで脳を活性化させ、健全な生活を送ることができるようにサポートします。
- ② 第二の目的は、高齢者が目的を持って取り組める事業として、絵本を拡大模写した「布芝居」を作成し、完成したら地域の保育園やつどいの広場などを訪問し、「布芝居」の披露や読み聞かせ、その他コマ回し・皿回しなどで遊び、交流します。

2 事業の内容

(1) 事業の概要

- ① お手玉体操・コミュニケーションゲームなどで交流し、脳を活性化させる。
- ② 「布芝居」づくり
絵本選びをし、著作権をとる。絵本を拡大模写し、布に写す（下絵書き）。
下絵に合わせて、アクリル絵の具で絵付けする。
絵が出来上がったら、1本の棒に縫い合わせる。

今年度の作品は、「ピヨピヨスーパーマーケット」です。

- ③ 布芝居が完成したら、近隣の保育園・つどいの広場などを訪問し、「布芝居」の読み聞かせや、手あそび、お手玉体操、けん玉、コマ回し、皿回しなどを披露し、孫・ひ孫の世代と遊び、三世代・四世代交流をする。（2月～3月）

(2) 事業の流れ

- ◆上記の内容が年度当初のプログラム予定でしたが、
コロナ禍で緊急事態宣言が発令されるなど、大きく予定を変更せざるを得ませんでした。

◆変更点

※新型コロナウイルス感染予防対策として、非接触型温度計での検温、手指の消毒、マスクの着用、ソーシャルディスタンスの確保などを徹底し、事業を行いました。

(ア) 実施回数 2020年6月～2020年12月 14回（20回予定中）
第2・第4水曜日 11：30～15：00（11:00～開始予定）

(イ) 1日のタイムスケジュール

11：30～13：00 布芝居づくり

（高齢者の方々の交流の場としてゲーム・脳トレ等を行う予定で

したが、それぞれの交わりを控え、各テーブルで布芝居づくりに専念しました。)

13:00～13:30 休憩・お茶タイム（手作り昼食会からお茶タイムに変更）

13:30～15:00 布芝居づくり

(ウ) 近隣保育所などの訪問（布芝居の披露・交流） 中止

コロナ禍で保育所などを訪問できないため、事務所隣の集会所に「布芝居美術館&読み聞かせ」コーナーを設置し、散歩がてら立ち寄ってもらう計画を立てました。しかし、第2回目の緊急事態宣言が1/8～3/21まで発令され、中止せざるをえませんでした。

補足 ・「布芝居美術館」は9/19に行った「みさと子育てフェスタ」では実施し、好評をいただきました。

・地域の子どもとつながる「おじいちゃんおばあちゃんの生きがい講座」は、三郷市生涯学習フェスタ デジタル「みさと学びの玉手箱」HPの中で紹介されました。

(3) 連携・協力機関

近隣保育園・つどいの広場・高齢者サロンなど

3 成果及び今後の課題

- ・8月に高齢者と近隣の小学生の交流を目的にした「紙ねんどのスイーツづくり」を行いました。布芝居の絵本「ピヨピヨスーパーマーケット」の中のでてくるお菓子（クッキー、ビスケット、ペロペロキャンディー、プリン）を一緒に紙ねんどで作り、子どもたちと楽しい一時を過ごしました。
- ・2月からの布芝居の披露は保育園やつどいの広場など6箇所を予定していましたが、新型コロナウイルス対策で残念ながら実施できませんでした。参加を希望されていた保育所の所長さんも大変残念がられていました。来年こそは近隣の保育所やつどいの広場などで子どもたちとの交流が実現できるように願っています。
- ・高齢者が自分たちで絵本を拡大模写し、布芝居を作り上げ、完成したら地元の保育園やつどいの広場を訪問・子どもと交流するやり方は、子どもたちに喜んでもらい、子どもたちからも元気をもらい「自分も社会の役に立っている」と参加者自身が実感でき、明日を生きるエネルギーが湧き、高齢者が自己肯定できるとてもよい方法だと思います。また、地域の三世代・四世代交流を進めるためにも、今後も継続していきたいと思います。
- ・課題は、コロナ禍で三密を回避するためにコミュニケーションゲームなどを中止しましたが、参加者同士の交流が少ないと感じる人も見られたので、もっと、楽しみながら参加できるようなプログラムに一日も早く戻れる日がくることを願っています。
- ・布芝居づくりは、完成したら、とても満足度が高く達成感が得られますが、うまくやらなければいけないというプレッシャーで楽しくなくなる人もいるので、参加者があまり負担にならずに参加できるように工夫が必要です。